



ともにつくる  
笑顔あふれる  
未来

「ともにつくる 笑顔あふれる未来」にむけて

コープしがが誕生して27年が経過しました。当時の4つの生協が力を合わせて、滋賀県民の豊かなくらしと人間尊重の平和な街づくりをすすめることを目的に、生活協同組合コープしがを設立しました。1970年代、高度成長のひずみにより環境破壊、有害食品の氾濫、健康破壊などの問題が顕在化する中、ゼロからの出発でしたが、生産者とのつながりを築き、仲間を増やし、消費者自身が協同の力で願いを一つひとつ実現してきました。

以来、社会・経済・地域の変化、価値観の多様化、諸問題のグローバル化など様々な変化に対しても、協同組合としての原理原則を大切にしながら、共通の願いの実現を目指してきました。一人ひとりの小さな力を合わせ、違いを認め合い、人と人の絆を大切にしながら。一人ひとりを大切に「人間尊重」、誰もが人間らしく生きるために希求する「平和」、様々な困難な問題を乗り越える「協同の力」。私たちの「協同」は未来に明るい光を照らす貴重な存在です。

社会が大きく変化する今日こそ、コープしがに関わるすべての人とともにめざしていく道標として、コープしがの理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を策定いたしました。策定にあたっては、組合員、役職員、取引先様から、コープしがへの期待や大切にしていきたい価値などたくさんの声をいただきました。「笑顔があふれる」くらしを、未来に繋いでいきたい。そのために、多くの人と想いや願いを寄せ合って、ともに一つひとつ実現していきたいと思っています。

人と人との「つながり」は、生協内にとどまらず、外に向かって波紋を広げ、紛争や争い、飢餓や貧困など、社会が抱えている問題を紐解き、和らげる力になっていくと信じます。理念には、今を生きる私たちが「つながり」の価値を「次代」に引き継いでいくのだという意思を込めています。

年次の「コープしがCSRレポート」は、一年間の事業や活動で、「笑顔あふれるくらし」にどこまで近づいたのか？「つながり」がどのように生まれ、広がったのか？その到達を確認する大切な位置づけとして発行しております。

最後に、ご協力、ご支援をいただきました皆さまの、コープしがへの引き続きのご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

2020年6月  
生活協同組合コープしが  
理事長 白石 一夫



「スパイラル」はコープしがのシンボルマーク。巻貝・波紋・風などの自然を象徴し、さらに求心と拡大、進化の奇跡などの発展を表しています。

INDEX

トピック1：株式会社ハートコープしが	3	共に学び続ける	13-14
トピック2：できるコトづくり制度	4	つながり	15-16
生協とは	5	笑顔あふれる未来のために	17-18
事業概要／市町別組織率	6	事業における環境報告	19-20
組合員の声を聴いて	7-8	コープしがの概要	21
思いをカタチに（事業）	9-12	コープしがのグループ会社	22

コープしがとSDGs

SDGsのめざすものは、コープしがが理念としてめざす「ともにつくる 笑顔あふれる 未来」のゴールと同じです。くらしの営みは、ずっと続きます。私たちが安心して暮らすことを当たり前の価値として取り組んでいる多くの事業や活動は、SDGsの17の目標と何らかの関わりがあります。また、私たちが安心して暮らすために、小さな「私にできるコト」を積み重ね、寄せ合って大きな力になるのが生協です。コープしがは、人が大切にされ誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をめざして、組合員、役職員、地域の人々と力を合わせていきます。

